



レーザー溶接機 ALM300 による作業

主な事業内容

金属部品の接合、
金型の肉盛溶接

主な取引先(納入先)

電機、精密機器、医療機器、計器、
食品機器などの部品製造・販売会社

主な製品

電子機器や医療機器などの金属部品接合
金型補修に伴う肉盛溶接

業務
内容

**金属部品接合と
金型肉盛溶接で最適な提案**

吉村熔接所は、ガスからMIG、TIG、レーザーへと進化した溶接技術史を常にキャッチアップしてきた。しかも、これら新旧の各溶接技術をいずれも取りこぼすことなく、高い水準で技能を保持し続けている。ガス溶接や、ろう接の傍ら、最先端のレーザー溶接機が稼働する現場が顧客への最適な提案を生んでいる。1mm以上の肉盛溶接などで、レーザー溶接とTIG溶接を掛け合わせ、効率と品質を両立させるのも、すべての溶接に精通する同社の得意とするところだ。金属部品接合と金型肉盛溶接の2つの事業をメインに、電機や自動車、医療、金型など幅広い産業を支えている。

強み
主軸のレーザー溶接は
設備も人も手厚い陣容

平成18年に六ヶ所伸一社長が担当者時代に導入したレーザー溶接が現在の主軸。顕微鏡を覗き込み、0.1mm単位で溶接する技術は接合の質を飛躍的に高めた。現在、レーザー溶接機3台を備え、技術担当者も3名という陣容で、機械トラブル時などにも安定供給できる体

社長あいさつ

代表取締役
ろく か しょ

六ヶ所 伸一さん

昭和39年の創業以来の溶接技術を習得しつつ、レーザー溶接機の導入担当者として奮闘しました。生産性向上をもとにイノベーションやサービス向上をめざし、まい進中です。平成24年に代表取締役役に就任し、出身地である宮崎県、そして、大阪府に恩返しすることを夢見て歩み続けています。

主な保有設備

- レーザ溶接機 ALM300ほか
ALPHA LASER製 3台
- 移動式天井クレーン (2t)
NHEEL2.0MRV
日本ホイスト製 1台



住 所 / 〒577-0835
東大阪市柏田西
1-2-26

T E L / 06-6722-1860

F A X / 06-7632-4220

創 業 / 昭和39年

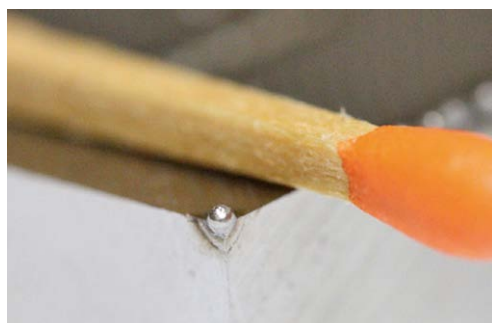
設 立 / 昭和55年7月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 5名

試作
プロ同士の連携で
粘り強く突破口を拓く

試作は難所であり、腕の見せ所。板厚0.2mmの金属部品の接合を依頼された際には、治具製作業者との打ち合わせを繰り返して精度を向上。材料の差異で生じるエッチング加工に関する溶接不良では、測定業者へ相談し、結果を踏まえて材料を比較検討して解決している。自前主義にこだわらず、多分野のプロと連携して粘り強く突破口を拓く。その分、牙城である溶接には徹底的にこだわっている。その一端が垣間見えるのが溶接アート。ホームページには「心臓」や「ダンゴムシ」といった様々な作品を掲載。見る者を魅しませてくれるだけでなく、同社の創造力と溶接技能の深みを訴えかけてくる。



0.1mmの肉盛溶接実例



渾身の溶接アート作品「心臓」



<https://yoshimurayousetsu.jp/>